

平成29年度 学校経営計画書及び学校評価計画書

石川県立小松工業高等学校	
校長	林 純一郎

1 教育目標

- ① 工業の専門高校として、地域産業の発展に貢献できる有為な産業人を育成する。
- ② 誠実を尊び、規律を守り、豊かな心、たくましい体力と実践力を持った人材を育成する。
- ③ 自ら専門技術の練磨を図り、科学的な探究心を持ち、創意工夫する人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 時代のニーズに応えた工業の専門学科（機械、電気、建設、材料化学）を有し、実践的な工業技術や先端技術を身につけた地域産業をささえるスペシャリストを育成している。
- ② ものづくり人材の育成を主眼とした、「地元産業の発展に貢献できる意欲的な生徒の育成」を通して、地域から信頼される工業の専門高校であり続けている。
- ③ 個に応じた進路実現を念頭に置き、きめ細かな学習指導や生徒指導を行うとともに、多彩な学校行事や部活動、生徒会活動等を通し、自律性に富み、豊かな心、たくましい体力を身につけた生徒を育成している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 学校での授業・実習を基本にし、家庭学習や朝学習を習慣づけることにより、基礎学力の定着を図る。
- ② 基本的な生活習慣を確立し、心身ともに充実した高校生活を送ることを目指す。
- ③ 専門教科・領域への興味・関心を高めるとともに、職場体験等を通して勤労観・職業観の育成を図る。
- ④ 学校行事、部活動、生徒会行事等の集団活動を通して、互いに協力することの大切さや、自己の役割と責任について自覚し、コミュニケーション能力の育成に努める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 学校経営計画書に基づき教職員の意識改革を図り、主任を中心とした教職員が一体となった機動的な学校組織運営に努める。
- ② 授業公開や校内研修を充実させ、生徒の集中力が持続する授業を展開し、授業の創意工夫・改善に努める。
- ③ 本校の教育活動を保護者、地元企業、地域等に対して、様々な機会での情報発信し、開かれた学校づくりに努める。

3 今年度の重点目標

- ① 主体的・対話的で深い学びにつながる授業の実践を通して、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、問題発見力・問題解決力・創造力等の育成を図る。
- ② ものづくりによる実践的な技術・技能の習得や、デュアルシステム等の体験的学習に積極的に取り組み、地域に貢献できる人材の育成と個々の生徒の適性に応じた進路の実現を図る。
- ③ 「学警連携」「部活動の活性化」「教員の組織連携強化」「校内研修の充実」等を通して、生徒の規範意識やマナーの醸成を図り、社会人として必要な人間力を備えた人材の育成を図る。